

Vol. 7

2021年  
新春号

# すこやか

さが健財だより  
佐賀県のみなさまの健康をみまもり隊

私達は、マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づいて感染防止に取り組んでいます。

## 新型コロナウイルス 感染防止対策実施施設

施設名 (公財) 佐賀県健康づくり財団

私たちは受診者および職員の安全確保のため下記の事項を励行します。



本ポスターは、内閣官房の業種別ガイドラインにも指定されている「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づいた感染対策を行う健診施設の自己申告・責任により、2020年10月～2021年3月の期間で配布するものです。対策の詳細に関しては健診施設にお問い合わせください。<https://www.ningen-dock.jp/covid19/poster/>

マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」作成団体  
日本医師会・日本総合健診医学会・結核予防会・全国労働衛生団体連合会  
日本対がん協会・日本病院会・予防医学事業中央会

## 特集

### ウィズコロナ時代の 健康管理

#### フレイル予防で 生き生きライフ

“運動のすすめ”編  
～腰痛予防体操、たった3秒  
「これだけ体操®」をやってみよう！～

#### GoTo健康診断！！

公益財団法人  
**佐賀県健康づくり財団**

## すこやか★インフォメーション

2020がん征圧県民のつどいを開催しました。只今、動画配信中!!

佐賀大学医学部内科学教授 木村晋也先生による「がんと免疫力のお話し」や佐賀さいこう表彰(がん対策部門)授与式また、RFLJ佐賀との共同企画!木原慶吾の「幸せへのメッセージ」～忘れないがん検診!がん予防!!～の講演をYouTubeにて動画配信中です。詳しくは、右記のQRコードもしくは、「2020がん征圧県民のつどい」で検索してみてください。



2020がん征圧県民のつどい Q 検索

## 新型コロナウイルスへの感染防止対策実施中!!

### 佐賀県健診・検査センター(施設健診)での取組み

- 当センターへお越しの際は、検温、手指消毒、マスクの着用、体調管理についての聞き取り
  - 密にならないように、ソーシャルディスタンスの確保のお願い。
  - 受付では、アクリル板を設置。
  - 受診者の方が直接触れるドアノブや検査機器等は、健診スタッフが徹底して消毒を行う。
  - 当センター内は、24時間換気システムでの空気の入れ替えに加え、窓の開閉による換気もこまめに行ってています。
- ※上記については、「巡回健診」も同様に感染防止対策を行っています。



## GoTo 健康診断!!

当財団では、新型コロナウイルス感染予防および感染拡大防止に努め、皆様に安心・安全に健康診断をお受けいただけるよう、職員一同、環境整備を徹底してまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



### ●2F佐賀県健診・検査センターのご案内

健診種別	ご予約お問合せ先	
日帰り・1泊人間ドック	0952-37-3313	平日の8:00～17:00 (多くのオプション検査を準備しております。)
生活習慣病予防健診		
定期健康診断		
毎日健診(市町特定・がん検診)	0952-37-3314	平日・土曜日の8:30～17:30

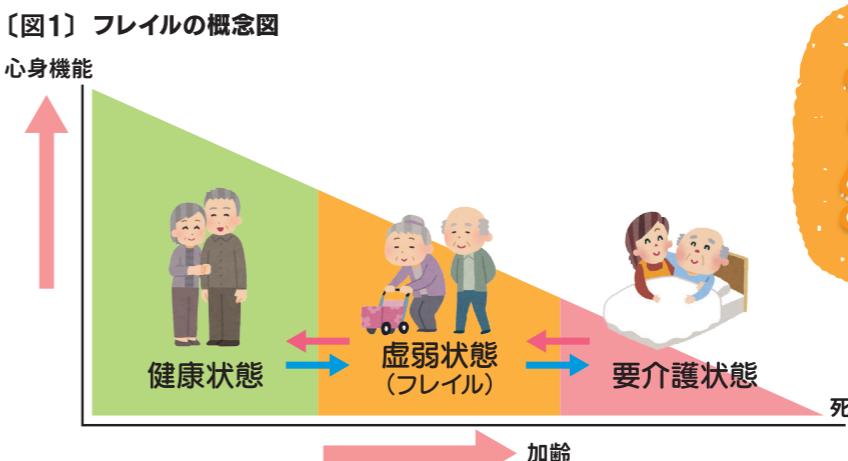
公益財団法人  
**佐賀県健康づくり財団**  
<http://www.saga-kenkou.or.jp>



佐賀県健診・検査センター  
〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12番10号  
佐賀メディカルセンタービル内  
TEL 0952-37-3301(代表) FAX 0952-37-3061



# フレイル予防で生き生きライフ



**◎フレイルとは？**

最近、フレイルという言葉をよく耳にするようになりました。フレイルは、日本老年医学会が2014年に提唱した概念で「Frailty(虚弱)」の日本語訳です。健康状態と要介護状態の間の身体的機能や認知機能の低下が見られる状態とされています(図1)。厚生労働省の研究調査班の報告書によれば、フレイルは「適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」であり、フレイルを早期に発見し予防すれば、介護予防につながることになります。

**◎フレイルとサルコペニアの違いとは？**

サルコペニアとは、ギリシャ語の「sarx(筋肉)」と「penia(喪失)」を合わせた造語です。つまり、サルコペニアは筋肉量が減少して基礎代謝量が低下している状態です。「次性サルコペニア」は加齢や病気などによるもの、「二次性サルコペニア」は活動量の低下によるものとされています。サルコペニアにより筋肉量が減少し基礎代謝量が低下すると、1日のエネルギー消費量も減り、食欲が低下し低栄養状態になります。そうなるとさらにサルコペニアが進行するといった悪循環におちります。

**◎フレイルの3つの要素とは？**

東京大学高齢社会総合研究機構の研究によれば、フレイルの3つの要素は、①身体的因素・動作が遅くなる、転倒しやすくなるなど②精神的因素・認知症やうつなど、③社会的因素・孤独や閉じこもり、経済的な困窮など、とされています(図2)。その中でもフレイルに最も影響するのが、①の要素の原因である筋力低下になります。高齢者は、筋肉量減少により筋力低下が生じているサルコペニアや運動器に障害をきたしているロコモティブ・シンドロームが進行し、心身機能全般が低下するフレイルとなり、さらに要介護状態に至ることになります。

**◎フレイルの見分け方は？**

フレイルチェックの方法を2つご紹介します。

**1) 指輪つかテスト**

両手の親指と人差し指で大きな輪を作り、足のふくらはぎの一番太い部分を囲んですき間ができるようなら、筋肉量が少なくなっていると判断されます。

**2) イレブンチェック**

11項目のうち、④、⑧、⑪の項目では「はい」、それ以外の項目では「いいえ」の数が多いほど、フレイルの可能性が高いということになります。

**◎フレイル予防における他の対策とは？**

フレイルのコントロール

糖尿病や高血圧などの生活習慣病や、腎臓病、呼吸器疾患、心臓病などの慢性疾患があるときは、まずそれらの病気をコントロールすることが大事です。それにより、安全に運動をすることが容易となります。

**2) 感染症予防**

高齢者のフレイル状態で免疫力が低下している場合は、肺炎やインフルエンザなどの感染症を生じると、重篤な状態になる危険もありますので、感染症には十分な注意が必要だと思います。

**◎フレイル予防で生き生きライフ！**

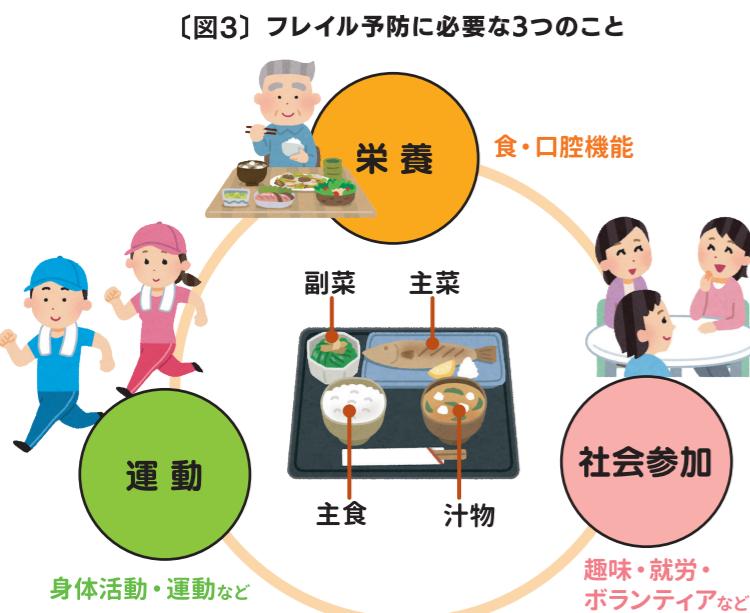
フレイル予防には、まずはフレイルへの気づきと自分事化を促す必要があります。心身機能を維持・改善し、活動量をあげ、社会参加を促すために、運動や栄養で心身ともに健全な状態を保ち、無理なく楽しく活動し、家族のみならず友人をはじめとした社会との交流を活発にしましょう。そして、生き生きライフを送りましょう。

- ◎フレイルの予防対策は？
- 高齢者のフレイル予防対策として、次のことを留意します。
- ①同年齢の同性と比較して、健康に気をつけた食事を心がけていますか
- ②野菜料理と主菜(肉または魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか
- ③「おきいか」「たくあん」くらいの固い食品を普通にかみ切れますか
- ④お茶や汁物でむせることがありますか
- ⑤1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか
- ⑥日常生活において歩行または同程度の身体活動を1日のうちに1時間以上実施していますか
- ⑦ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか
- ⑧昨年と比べて外出の回数が減っていますか
- ⑨1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか
- ⑩活気にあふれていますか
- ⑪何よりも、物忘れが気になりますか

高齢者のフレイル予防対策として、次のことを留意します。

筋肉が必要なたんぱく質の摂取は重要です。高齢者は若い世代以上にたんぱく質を摂取し、筋肉を構成するアミノ酸の血中濃度を上げる必要があります。性別に関係なく、体重1kgあたり1gのたんぱく質を日々の食事で摂取するのが良いとされています。良質なたんぱく質を十分に摂取することで、運動による筋肉量の効率的な増加が期待できます。

- 1. 栄養(じっかり噛んで食べる)
- 2. 運動(しっかり動く)



**◎フレイル予防における他の対策とは？**

①病気のコントロール

糖尿病や高血圧などの生活習慣病や、腎臓病、呼吸器疾患、心臓病などの慢性疾患があるときは、まずそれらの病気をコントロールすることが大事です。それにより、安全に運動をすることが容易となります。

②感染症予防

高齢者のフレイル状態で免疫力が低下している場合は、肺炎やインフルエンザなどの感染症を生じると、重篤な状態になる危険もありますので、感染症には十分な注意が必要だと思います。

**◎フレイル予防で生き生きライフ！**

フレイル予防には、まずはフレイルへの気づきと自分事化を促す必要があります。心身機能を維持・改善し、活動量をあげ、社会参加を促すために、運動や栄養で心身ともに健全な状態を保ち、無理なく楽しく活動し、家族のみならず友人をはじめとした社会との交流を活発にしましょう。そして、生き生きライフを送りましょう。

転倒・腰痛防止令和プロジェクト SAGA  
転倒・腰痛防止サポーター企業を募集しています！  
転倒・腰痛防止令和プロジェクト SAGA ホームページからチェック

# これだけ体操®

～仕事始めや作業の合間に～

**たった3秒**

**腰痛予防体操**

QRコードでSAGAをチェック

R2.8

**1 腰痛になっても、できるだけ動く！**  
腰が痛くてもできるだけ安静にせず、動いた方が回復は早く、長期化しない。

**2 意識を集中して、パワーポジションで！**  
重量挙げ選手がバーベルを持ち上げる時の姿勢をイメージ

**3 ストレス緩和方法を身につける！**  
マニュアルにヒントがたくさん♪腰痛もストレス反応です。

**4 腰痛を心配するほど再発し、楽観するほど緩和に向かう！**  
腰痛への悲觀、心配がストレスとなり、脳の痛み緩和機能（ドーパミン・セロトニン分泌）が停止してしまう。

⇒ 詳しくは「今日の腰痛予防対策マニュアル」へ

※上記は、一般的な腰痛（非特異的腰痛）についての対処法です。詳しくはマニュアルをご覧ください。

監修：松平 浩（東京大学医学部附属病院22世紀医療センター運動器疼痛メソッドリサーチ＆マネジメント講座長 特任教授）

佐賀労働局・佐賀産業保健総合支援センター



松平先生に  
質問  
してみました♪

「これだけ体操®」は骨粗鬆症を抱えがちな女性向けに勧めても大丈夫ですか。



結論からいと、心配は概ねありません。骨粗鬆症の方は、「これだけ体操」とは逆方向の屈曲方向の体操が、骨折リスクを高めます。屈曲方向とは、屈める方向のエクササイズだったり動きです。代表的なのが、布団から起き上がりのヨコヨイショ！と、物を離に持ち上げる時ですかね。こういった際に、骨粗鬆症の方は、いつの間にか骨折を起こす可能性があります。これだけ体操は、正しい方法で行えば、骨粗鬆症の方に、基本、悪影響を及ぼしません。ただ、腰曲がりのシニアの方は、不安定で後ろへ転倒の不安があるかもしれませんから、これだけ体操ではつま先重心が大切です。足元が滑らないという事をしっかり確認したうえで、壁を利用して、つまり、壁に前腕を付けてのこれだけ体操ポーズも一手法になるかと考えます（うつ伏せに寝て両前腕で上半身を支持してそらす赤ちゃんのハイハイポーズのようなパペー・ポジションもよし）。とにかく注意すべきは、体操中リアルタイムに、でん部へ大腿に放散する痛み・しびれが出現する場合は、症候性の腰部脊柱管狭窄症が疑われる所以、体操は止めて整形外科を受診していただくということです。

# “運動のすすめ”編



～腰痛予防体操、たった3秒「これだけ体操®」をやってみよう！～



厚生労働省佐賀労働局  
佐賀労働基準監督署長

満田 和弘

オススメの腰痛予防対策をご紹介します。

まず、腰痛が起こる代表的な2つの原因を知っていただくことです。

- ・腰椎の機能障害（椎間板のずい核の位置のズレなど）
  - ・脳の機能障害（ストレスに伴うドーパミンやセロトニンの分泌不足などで痛みをコントロールできなくなる）
- そして対策として、腰痛予防体操、たった3秒、いつでもどこでも手軽にできる体操「これだけ体操®」です。



ポイントは

- ・足は平行、肩幅より少し広めに、
- ・両手はお尻の上に置き、胸を開き、肩甲骨を寄せます。
- ・頸を軽く引き、息を吐きながら、骨盤を前に押し込むイメージで3秒間。
- ・その時、つま先重心で膝は伸ばし、イタ気持ちいい～くらいまで3秒間。

ただし注意事項があります。この体操をした時に、膝までの強い痛みが走るような方は、脊柱管狭窄症等の可能性もありますので中止して整形外科医に受診してください。

たった3秒間、仕事始めや、仕事の合間にすることで予防になります。すでに痛い方も、回復を早めるために度々行なうことで、痛みの原因となる椎間板のズレを戻してくれるそうです。



さらに対策として

- ・「とりあえず安静」は間違い、「動いたほうが早く回復」が新常識。
- ぎっくり腰など腰痛が発症しても、安静にせず（せいぜい2、3日）、痛くてもできるだけ動くようにすれば早期回復と再発防止につながるというのが、現在の医療常識となっているようです。
- ・腰痛は、ストレスからも発症（脳の機能障害）するので、ストレス対策も効果的。腰痛を心配しすぎること自体がストレスにならないように、正しい腰痛の知識を得て前向きに過ごすのがいいようです。
- ・クシャミをする時の急激な前かがみ姿勢は腰に大きな負荷をかけやすいそうです。ぎっくり腰予防として、クシャミの寸前、机があれば片手をついて体を支えるといいそうです。机がなければ、壁などに手をつくとよいでしょう。

取り組んだ方から効果が上がってるとの声をよく聞くようになりました。

このチラシやポスターも、「職場のみんなにさせたいから、マニュアルより簡単なポスターがほしい」との声に応えて佐賀労働局で作成したものです。恥ずかしながら体操しているのは私でございます。当局のホームページからもダウンロードできますが、チラシやポスターは、県内の労働基準監督署でも無料配布しています。お宅の冷蔵庫に貼るなど全世界へ広めてください（笑）

このマニュアルの内容や「これだけ体操®」は東京大学医学部附属病院22世紀医療センター特任教授松平浩先生によるもので、厚生労働省でも啓発しており、私個人もアンバサダーとして松平先生に師事しております。松平先生はNHK「きょうの健康」などでも活躍中です。

腰痛で仕事を辞めると泣いていた職員が、腰痛の新常識と「これだけ体操®」で今やピンピン、これが一番うれしかったです。私自身もぎっくり腰を繰り返していましたが、今やコルセットも捨てました。腰に違和感があつても「これだけ体操®」でやり過ごせるので、腰痛はすっかり怖くなりました。